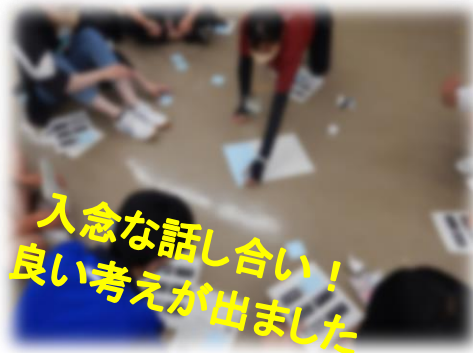


# ボランティアキャンプ in 幡多

7月9日(土)～10日(日)に、ボランティアキャンプ in 幡多が3年ぶりに開催されました。幡多青少年の家での自然体験活動に触れ、ボランティア活動の意義を体感する事業です。

今年度は、大学生だけではなく地元高校生も交えてのボランティアキャンプとなりました。



上川口漁港へ移動して、シーカヤックの活動です。子どもたちが活動する上での注意点をグループワークで話し合い。その気づきをもとに、体験活動を行いました。

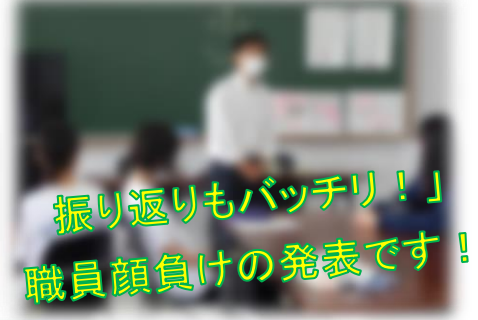
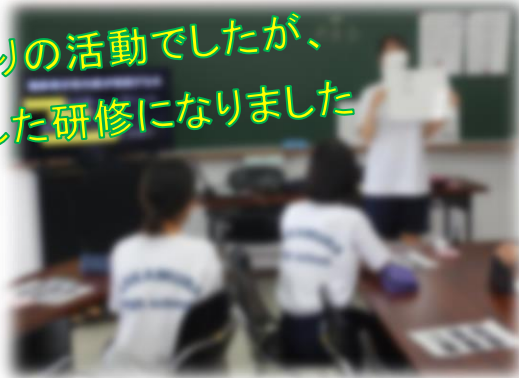


2日目には、浮津海水浴場にてボディボードの活動練習もしました。



テストや部活動でボランティアキャンプ当日に来られなかった生徒向けに、別日でも研修を実施しました。

日帰りの活動でしたが、  
充実した研修になりました



振り返りもバッチリ！  
職員顔負けの発表です！



活動は真面目に！  
時には楽しむ！



様々な学校や校種を超えた研修になりました。今回の研修で学んだことをもとに、地域のボランティア活動や幡多青少年の家の主催事業などで活躍してくれると嬉しいですね♪

### ～～～参加した学生の振り返り～～～

一部抜粋

ボランティアのみでの活動があることで、自分たちがどういったサポートをするべきか危険な場所や指導(注意)を促すべきところをしっかりと押さえることができた。

また、シーカヤックやボディボードを自ら体験することで口頭説明では理解できなかったところ、もしくは理解したけどやってみて気がついたことがあった。【大学生より】

今まで4年間ずっと参加してきた活動でしたが、今までは用意していただいたルールに沿った内容を行っていただけであり、活動のルールの変更は考えたことは無かったです。

そのため、今回の話し合いを通じて、今までで十分だと考えていた内容にも、まだ改善点やより楽しく安全に活動できる方法があるのか！と驚きを感じました。【大学生より】

宿泊研修や行事に参加する側だったけど、初めて運営する側になってみて、安全に楽しんでもらうために、いろんな工夫がされていることが分かりました。一つのことに対して、グループで話し合ってみると、自分では思いつかないような意見がたくさん出ておもしろかったし話し合うことの大切さを実感しました。

今までのことをそのまま実行するだけでなく、よりよくしようとする姿勢が大事だと思いました。【高校生より】

他校の高校生や市内の大学生の人と気軽に話せたのが一番楽しかったです！

私がケガをしたときに話しかけてきてくれた大学生さんみたいにケガを治したりしてくれるいい人になりたいと思いました。ボランティアの人と協力しあって自主性を高めていきたいです！

学校と学年の違う人と仲良くなれたし、今進路で大変な時に話を聞いてくれて嬉しかったです。【高校生より】